

市の魅力を全国へ発信!

地井武男さんが「匝瑳散歩」

人気番組「ちい散歩」の収録が8月3日から5日にかけて市内各地で行われ、本市観光大使・地井武男さんが市民の皆さんとふれあう様子が、8月29日と30日の2間にわたり全国に放映されました。同番組では、地井さんのご厚意により、平成20年以来4年連続で本市を取り上げていただいています。

なお、後日、地井さんから「撮影後記」として原稿用紙3枚を超えるメッセージをいただきました。次ページで紹介させていただきます。



▲豊栄小の児童たちが孵化させたトウキョウサンショウウオの稚魚を、小学校近くの蓮池に放流



▲20種類を超える樹木の苗木、計155本を市民の皆さんと一緒に天神山公園に植樹。新しく生まれたこの一角は「ちいちいの森」と名付けられました

◀テレビ朝日アナウンサーの市川寛子さん、矢島悠子さんと一緒に連合渡御に飛び入り参加。お囃子に合わせて「あんりゃあどした！」

「ちい散歩」匝瑳市ロケを終えて

今年も8月3日から5日までの3日間、匝瑳市八日市場の八重垣神社祇園祭を中心に、市内各所で「ちい散歩」の撮影を行いました。番組を通じて、元気なお祭や街の様子を全国に発信することができたと思っております。

いつもこの番組が取り上げてきている「自然環境への目線」。これを匝瑳市からも発信していこうという試みのひとつが、豊栄小学校の子どもたちによるトウキョウサンショウウオの稚魚の放流でした。学校で子どもたちが卵から孵化させた小さな稚魚を、近くの蓮池に放流する姿を撮影させていただきました。この日、夏休み中にもかかわらず、校庭にはたくさんの子どもたちが集まってくれました。自分たちが育ててきた稚魚を蓮池に放すときの子どもたちの目は輝き、「この豊栄の自然豊かな環境を自分たちの手でこれからも守り育てていくんだ」という意志を感じ取ることができました。とても頼もしく思え、私自身も勇気をいただきました。「ちい散歩」のスタッフたちも、この子どもたちの純真な眼差しをカメラに収めることができたものと思います。

そしてもうひとつは天神山公園への植樹です。私の発案もあって、「ちい散歩」スタッフのひとりである伊東ディレクターが、半年ほど前に都内で行われた同番組のロケ中にみんなで拾い集めたシイの実を自宅に持ち帰って発芽させ、その小さな苗木を匝瑳市のどこかに植えさせていただこうという計画でした。市からも快諾をいただき、そして地元植木組合の皆さんからも専門的知識をいただき、天神山公園の一角に植えさせていただくことになりました。当日、30度にもなる猛暑の天神山公園には、太田市長をはじめ、協力してくださった地元の植木組合の皆さん、匝瑳高校の生徒の皆さん、そして市民の有志の皆さんが集まってくださいました。そして先に紹介させていただいた東京から持ち込んだシイの苗木25本と、植木組合の皆さんが用意してくださった130本、計155本あまりの苗木を皆さん汗びしょりになって植えていただき、そこは「ちいちいの森」と名付けられました。もとより、この匝瑳市は「植木の街」として有名です。私個人の夢のような想いではありますが、この街が県内はもとより全国でも突出した多種多様な緑を有する街、県内外から緑の視察団や専門家が押し寄せ、緑の情報発信の中心になる街、そしてその緑豊かな自然環境の中で育まれた子どもたちの明るい笑顔があふれる街になってほしいと願っております。30年後、50年後…。将来の匝瑳市を夢見て、我々「ちい散歩」は、今回の植樹イベントを皆さんにプレゼントさせていただいたつもりです。市民の皆さん、ときどき天神山公園に足をお運びになり、「ちいちいの森」の若い苗木を見守ってあげてください。そして将来のこの街への想いを汲み取っていただけたらうれしいです。

また、8月5日には、元気に繰り出した神輿連合渡御の様子も全国にその勇姿を発信することができました。撮影へのご協力ありがとうございました。

どうぞ市民の皆さん、「あんりゃあどした！」の精神で日々元気にお過ごしください。

御礼申し上げます。



匝瑳市観光大使

地井武男